

## 第3回「徳島県公立高等学校魅力化 推進委員会」の概要について

徳島県教育委員会教育創生課

## 第3回「徳島県公立高等学校魅力化推進委員会」概要

1 日 時 令和4年11月29日（火） 午後2時30分から午後4時30分まで

2 場 所 徳島県庁10階 大会議室

### 3 出席者

(1) 委 員 11名全員出席

(2) 県教委 教育次長，教育創生課長，事務局員8名

### 4 議事概要

(1) 取組事例発表 那賀高校，脇町高校，徳島北高校

(2) 事務局説明

○報告書の構成イメージ（案）

(3) 意見交換

### 5 意見交換において委員から出された主な意見

#### (1) スクール・ポリシーの運用について

○スクール・ポリシーを掲げただけでなく，教職員はもとより，全校生徒で共有し浸透させるというのが最も大事である。

○スクール・ポリシーは，柔軟なものと考え，定期的にブラッシュアップできるように，今のスクール・ポリシーに基づいてどういったことができている，どのように変えていくべきかなどを話し合うための組織づくりが必要ではないか。

#### (2) 学校教育活動の充実について

○普通科高校においては，文理融合という形でもう少し柔軟に科目が取れる学校などがでてくると，違いがより際立ってきていいのではないか。

○教育活動の充実と魅力発信のどちらにおいても考えられるが，ICTの効果的な活用について，具体例があれば現場の人間として非常にありがたい。

#### (3) 社会に開かれた学校について

○学校運営協議会の活用について，具体的な内容を盛り込んでいただければ，小・中学校でも参考にしたい。また，各地域の学校で活用している地域資源に係る情報共有など，校種を越えて連携を進めることができるといい。

#### (4) 効果的な魅力発信などについて

○企業でも雰囲気重視で働いている風景動画を見せているように，徳島県の各高校ではこのように素敵な生活が待っているとウェブ媒体などを活用して広報すると，イメージがよりリアルに伝わるのではないか。

○別の高校の生徒同士がそれぞれの高校の取組などを取材し，魅力を紹介していくような動画を作成すれば，それは高校生たちの生の声であるから，中学生に高校の雰囲気がよく伝わり，学校同士の交流にもつながる。

○卒業生が，スクール・ポリシーに基づく活動を通じて，このように育ったということが可視化されると，最も有力な魅力発信になるのではないか。

○中学校では，高校における社会貢献などの素晴らしい取組が生徒や保護者などの心に響くように，価値観を少し変えていく取組をもっと行う必要がある。

### 6 今後の予定

令和5年 2月1日 第4回魅力化推進委員会

令和5年 2月中旬頃 「徳島県公立高等学校魅力化推進委員会報告書」提出

# 第3回徳島県公立高等学校魅力化推進委員会

## 次 第

日時 令和4年11月29日（火）  
午後2時30分から  
場所 徳島県庁10階 大会議室

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 取組事例
  - (2) 報告書の構成イメージ（案）
  - (3) 意見交換
  - (4) その他
- 3 閉会

### 配付物一覧

- (1) 推進委員会次第（本紙）
- (2) 会場配席図

### [資料]

- 資料1 第2回「徳島県公立高等学校魅力化推進委員会」概要  
資料2 報告書の構成イメージ（案）  
参考資料 総合的な探究の時間について

## 第 2 回「徳島県公立高等学校魅力化推進委員会」概要

1 日 時 令和 4 年 1 0 月 7 日（金） 午後 3 時から午後 5 時まで

2 場 所 徳島県庁 1 0 階 大会議室

### 3 出席者

(1) 委 員 1 1 名中 8 名出席

(2) 県教委 教育次長，教育創生課長，事務局員 7 名

### 4 議事概要

(1) 取組事例発表 城北高校，小松島高校，鳴門高校

(2) 事務局説明

○普通科の特色化・魅力化に係る主な事業等

○県外事例

(3) 意見交換

### 5 意見交換において委員から出された主な意見

#### (1) 取組事例発表について

- ①課題を発見し，情報を集めて分析を行い，まとめて発表するという活動を通して，社会の中で必要とされる力を身につけてきていると実感することができた。
- ②学校組織のスリム化など業務改善によって，先生方に少しでも余裕ができ，それが手厚い指導や教育活動の充実につながると考えられ，県下でもそういった取組を進めていただきたい。
- ③地元でのフィールドワークや幅広い分野の人たちとの世代を超えた交流を通じて，地域とのつながりが明確になり，郷土愛が育まれていると感じられた。

#### (2) 総合的な探究の時間について

- ①全生徒がグループに分かれて行う探究活動では，熱量や取組の深さに差が出てしまうので，同じ深さの活動を行うために，ある程度全体を底上げする仕組みを考えていく必要がある。
- ②一部の生徒が参加する取組もひとつの特色だが，徳島県では，全生徒が文武両道を目指すといったように，どの学校も総合的な探究の時間を使って，全員が特色化・魅力化につながる取組を行っていることが素晴らしい。
- ③ハザードマップの作成などの取組で身についた，地域は地域で守る，という考えに感銘を受けたので，専門家がいる大学などと連携し，より一層防災に関する取組に力を入れてほしい。

#### (3) 特色化・魅力化について

- ①各学校が元来持っていた強みを生かしつつ，鳴門高校であれば鳴門教育大学といったように，その地域にある企業や大学など，地域にあるものを十分に生かすということが求められるのではないかと。
- ②地域の活性化などに関する取組は，地域にある高校として素晴らしい活動であることに間違いはないが，全国から見てどう見えるかを意識することも必要である。

### ※ 今後の魅力化推進委員会のスケジュール（予定）

令和 4 年 1 1 月 2 9 日 第 3 回魅力化推進委員会

令和 5 年 1 月頃 第 4 回魅力化推進委員会

## 報告書の構成イメージ（案）

### 1 特色化・魅力化の方向性

各学校が、それぞれの強みを生かしつつ、新たな仕組み\*も活用して、教育内容を充実させ、各学校ならではの特色や魅力をつくりあげていく。

\* 新たな仕組み …… スクール・ミッション及びスクール・ポリシー、徳島県G I G Aスクール構想、学校運営協議会

### 2 取組事例

- (1) 城北高校            (2) 小松島高校            (3) 鳴門高校  
(4) 徳島北高校        (5) 那賀高校            (6) 脇町高校            など

### 3 取組事例等から見える特色化・魅力化に向けた方策

#### (1) スクール・ポリシーの運用

- ・スクール・ポリシーの共有・浸透
- ・スクール・ポリシーに基づく教育活動の精選・重点化
- ・徳島県教育振興計画の改定と連動した見直し

#### (2) 学校教育活動の充実

- ・総合的な探究の時間の活用
- ・生徒や学校、地域の実態に応じた学習活動の展開
- ・I C Tの効果的な活用
- ・国や県の事業等の活用

#### (3) 社会に開かれた学校

- ・学校運営協議会の活用
- ・地域連携を担当する教職員等の配置（校務分掌に位置付け）
- ・地域の人的資源・物的資源の活用

#### (4) 効果的な魅力発信

- ・生徒主体の広報活動

## 総合的な探究の時間について

### 1 総合的な学習の時間の改訂

- ・地域や学校，児童生徒の実態等に応じて，教科等の枠を超えた**横断的・総合的な学習**とすると同時に，**探究的な学習**や**協働的な学習**とすることが重要であるとしてきた。
- ・特に，「①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現」の**探究のプロセス**を明示し，学習活動を発展的に繰り返していくことを重視してきた。

#### <課題と更なる期待>

- ・地域の活性化につながるような事例が生まれている一方で，**本来の趣旨を実現できていない学校**もあり，小・中学校の取組の成果の上に高等学校にふさわしい実践が，十分展開されているとは言えない状況。

→ 「総合的な学習の時間」を「総合的な探究の時間」に改称  
(平成31年度から先行実施)

### 2 総合的な探究の時間の特質

#### ①小・中学校の総合的な学習の時間との違い

生徒が取り組む探究がより洗練された質の高いものであるために，

- ・探究の過程が「高度化」すること
- ・探究が「自律的」に行われること

が求められる。

総合的な探究の時間では，自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を自ら発見し，解決していく学びを展開していく。

(参考) 総合的な探究の時間のテーマの例

S D G s，地域課題，個々の進路志望に関わる研究など

#### ②他教科・科目における探究科目（古典探究，地理探究など）との違い

- ・学習対象が横断的・総合的
- ・複数の教科・科目等における見方・考え方を総合的・統合的に働かせる
- ・「最適解」や「納得解」を見いだすことを重視

### 3 総合的な探究の時間の目標

#### <第1の目標>

- ①探究の見方・考え方を働かせ，②横断的・総合的な学習を行うことを通して，  
③自己の在り方・生き方を考えながら，よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。

#### <各学校において定める目標及び内容>

各学校は，第1の目標を踏まえ，各学校の総合的な探究の時間の目標や内容を適切に定め，創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開。

※卒業までに全ての生徒が3～6単位を履修。(1単位が週1回50分の授業，年間35週)

### 4 他の科目の履修による総合的な探究の時間の代替

他の科目を履修することにより，総合的な探究の時間の履修と同様の成果が期待できる場合に代替できる。

- ①理数科では，「理数探究基礎」，「理数探究」の履修による代替
- ②農業科などの専門学科では，「課題研究等」の履修による代替


◇取組事例発表（抜粋版）  
＜那賀高校＞

### エシカルクラブの紹介

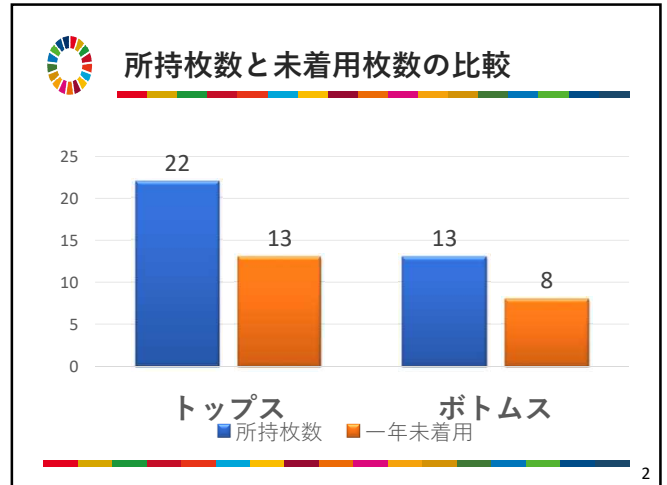
平成29年 那賀高等学校エシカルクラブ設立

「服活」：不要となった衣服に第二の活用の場を与え、新たな命を吹き込み活動

着られなくなった服がたくさんあるんだけど、どうしたらいいですか？



1



### 校外「服活」



3

### 「服活」5年間の活動実績

| 年度            | 場所  | 譲渡枚数  |
|---------------|---|-------|
| 平成29年度        | 校内服活・学校祭・那賀よしもちつき大会   | 848   |
| 平成30年度        | NAKAGAWA-FAMI祭・学校祭・南部地区消費者のつどい・あなんまちマルシェ・那賀よしもちつき大会・春マルシェ                                     | 2,021 |
| 平成31年度(令和1年度) | あららぎ祭り・学校祭・あなんまちマルシェ  | 362   |
| 令和2年度         | 学校祭・あなんまちマルシェ・わじきこども園・あいおいこども園・子ども支援センター・カープス   | 1,091 |
| 令和3年度         | わじきこども園・あいおいこども園・子ども支援センター・あなんまちマルシェ・那賀川図書館・富岡公民館・カープス  | 3,625 |
| 令和4年度～11月中旬   | わじきこども園・あいおいこども園・消費者祭り・校内服活・トライアルサウンディング(阿南市役所)・富岡公民館・子ども食堂・とくしまSDGSシンポジウム2022・あなんまちマルシェ・カープス | 2,483 |

4

### 協賛企業



阿南・相生こども園    カープス    阿南市役所    富岡公民館

阿南ファミーポ-トセンター    パティスリー・エール    株式会社ときわ    TRUE LOVE HEARTY

5

### 善きことをした高校生達

徳島県立那賀高校は「エシカル教育の充実」を重要目標の一つとし、「エシカル消費」を世界へ・未来へをテーマにした教育を進めている。生徒も多様な活動を行っており、エシカルクラブの生徒たちは、社会や環境を配慮したエシカル（倫理的）消費の普及を目指すべく、その中心的活動として「服活」に取り組んでいる。



### サステナブルファッションショー

### 消費者まつり

6

# <脇町高校>

## 1. SSHを中心とした取組の概要

**卒業生意識調査**  
SNSを活用した卒業生の活動状況等の調査

**フェーズⅡ**  
それぞれのコースで課題研究を実践し、コンピテンシーを育成する  
・SW-ingリサーチグローバルアクト  
・探究科学ⅠⅡ  
・探究部  
・SW-ingゼミ

**フェーズⅠとⅡを補完し、主体性や国際性、探究心等を育成する**  
・SW-ingアカデミー  
・SW-ingチャレンジ  
・SW-ingキャンプ

**フェーズⅠ**  
全生徒が質の高い課題研究を実践するためのSW-ingSLC (科学的思考力)を育成する  
・協働的問題解決学習  
・SW-ingリサーチローカルアクト

## 2. 大学や自治体等との連携

**主な連携先 (大学や専門機関)**

- 京都大学 . . . 課題研究における学生や院生によるメンター制度 (オンライン及び現地研修)
- 徳島大学 . . . 課題研究の助言、イノベーション教育
- 東京大学 . . . イノベーション教育、課題研究の助言

**AI/IoTに関する講義、研修**

- 鳴門教育大学 . . . 教員研修や授業改善への指導、助言
- 金沢工業大学 . . . 英語版SDGsカードゲームの提供
- 徳島県立博物館 . . . 課題研究における助言
- データサイエンティスト協会 . . . データ分析における助言

## 2. 大学や自治体等との連携

**主な連携先 (その他)**

- 県西部県民局 . . . 地域活性化の実践の協力や助言
- 美馬市 . . . 課題研究における実習農地の紹介
- そのらの郷 . . . キャリア教育、農業体験、民泊体験、聞き書き事業、ESD教育、総探におけるアイデアの評価等
- (株)グラリス . . . 総探におけるアイデアの実現の協力
- (株)エス・ビー・シー . . . 探究部における課題研究
- NewsPicks . . . ニュースアプリの提供、交流の場の提供
- (株)INERTIA . . . プログラミングアプリの提供
- 内閣府ビッグデータチーム . . . RESASの活用方法等

## 3. 東京大学AI研修

**研修内容①**  
「ロボティクス・VR技術を活用した運動学習の仕組み」  
「モーションキャプチャを利用した運動解析」

## 3. 東京大学AI研修

**研修内容③**  
SyncUpを利用したダンス練習におけるシンクロ率の測定

## 4. IoTやAIを用いた課題研究

① リモートセンシング技術を活用した伝統農法の効果の検証

② 動画解析による正しいフォームの定量化



## <徳島北高校>

—徳島県の課題—

**地方商店街の衰退**

**社会の多様性が低い**

▶ 徳島県在住外国人の数  
→6,627人(都道府県別42位, 2020年12月時点)



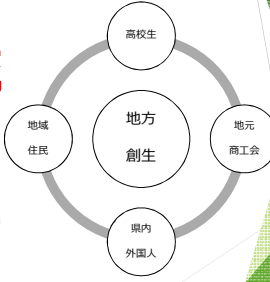
北高ロード商店街




1

—この現状を打破する為に—

**国際交流  
による  
地方創生**



2


具体的な構想

地域の夏祭りや秋祭りで国際交流活動企画

北島町商工会：「北島ひょうたん夏祭り」  
藍住町商工会：「あいずみスマイリーマルシェ」

▶ 英語版のチラシの作成  
▶ 外国人との交流イベントの運営  
▶ 「藍染め体験」の実施  
▶ 言語ボランティア

**地域伝統行事活性化  
異文化理解の促進**



3

The 9th  
**Aizumi smiley marché**

Sat 20 Oct 2022 (cancelled only in case of heavy rain)  
(10h to 16h00-16:00 / 15:00-16:00)

Place: Shozai Castle Mitsui Park  
8-1-1 Shozai Aizumi-cho Kawanabe Tokushima-ken

Please come to  
"Service Center for Foreigners"!!



4

実際の活動の様子  
～北島町ひょうたん夏祭り～




5

今後の展望  
外国人が住みやすい町「徳島」をSNSで発信

▶ 徳島県内にも多くの外国人が暮らしていることを周知  
▶ 高校生と地域住民とが協力して町を活性化  
▶ 観光客や移住者の増加

**誰もが暮らしやすい多様性あふれる社会  
(SDGsの観点)**



6